

科目名	安全保障概論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			総合政策学部	□ 必修 ■ 選択	
英文表記	Introduction to National Security	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	さとう かつえ	実務家教員担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	佐藤 克枝	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	安全保障の基本的事項を理解する。				
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を習得できます。 1 安全保障の概念について説明できる。 2 我が国の防衛体制の基本について説明できる。 3 平和のための取り組みに、進んで参画することができる。				
授業概要	現在の国際情勢、とりわけ軍事情勢は厳しい状況にあります。国際社会でどのようにして平和と安定を追求していくのかを学びます。				
授業計画					
第1回	安全保障の概念 (ガイダンス)				
第2回	安全保障概論 はじめの一步 ~アジアを地政学的に考察する~				
第3回	安全保障概論 はじめの二歩 ~国際法・国際関係について考察する~				
第4回	わが国を取り巻く安全保障環境と課題について (その1)				
第5回	わが国を取り巻く安全保障環境と課題について (その2)				
第6回	戦争とその解決への模索 (その1)				
第7回	戦争とその解決への模索 (その2)				
第8回	前半のまとめ・中間試験				
第9回	国家、国益、国家戦略				
第10回	集団安全保障と集団的自衛権				
第11回	抑止・抑止力とは何か				
第12回	戦争に至らない諸活動 (その1) 予防外交				
第13回	戦争に至らない諸活動 (その2) PKO				
第14回	国際法と安全保障				
第15回	災害派遣と安全保障				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業前にはレジュメの予習をし、分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(2時間程度) 2. 単元毎に、前回講義内容の確認を行います。講義の復習をしっかりと行ってください。(2時間程度)				
履修条件 受講のルール	レジュメは毎回ポータルサイトにアップします。授業までに予習をしてください。講義の際は、前回までのレジュメも見られるようにしておいてください。				
テキスト	渡邊 隆『平和のための安全保障論』かもがわ出版				
参考文献・資料	防衛省『防衛白書 (令和6年版)』日経印刷、防衛大学校安全保障学研究会編著『安全保障学入門 新訂第5版』垂紀書房、宮岡 勲『入門講義 安全保障論 第2版』慶應義塾大学出版会				
成績評価の方法	【試験 (中間40%、期末40%)、受講態度20%】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。				

	<p>・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。</p> <p>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	月曜日 14 : 40～16 : 10 水曜日 14 : 40～16 : 10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は公務員として、安全保障に関する業務に携わりました。様々な国や勢力がある中でどのようにして平和を守っていくのか、実務での経験も踏まえて話したいと思います。
学生へのメッセージ	国際関係・安全保障について興味のある学生の積極的な参加を期待します。現在生起している紛争から派生する問題についても一緒に考えていきましょう。